

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-----------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 0172000788 | | |
| 法人名 | 有限会社 アイケア小樽 | | |
| 事業所名 | グループホーム アイケアおたる | | |
| 所在地 | 北海道小樽市若松2丁目1-18 | | |
| 自己評価作成日 | 平成24年2月14日 | 評価結果市町村受理日 | 平成24年4月23日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

昨年12月1日より、訪問看護による 体調管理も加わり一層、入居者様の体調・安心・安全に努めております。

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://77system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0172000788&SCD=320 |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット |
| 所在地 | 札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401号室 |
| 訪問調査日 | 平成24年3月16日 |

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

| . サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します | | | |
|--|--|----|---|
| 項目 | 取り組みの成果 該当するものに 印 | 項目 | 取り組みの成果 該当するものに 印 |
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | 66 | 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12) |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | | |

自己評価及び外部評価結果

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 職員からの申し送り後、当日勤務者全体で理念を復唱し、利用者一人一人について最も適したケアを考えながら、理念に沿った支援に取り組んで行ける様、日夜努めています。ホーム長は申し送りを通して理念について話し、職員と共有しています。 | | |
| 2 | 2 | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 町内会の行事・お祭り・年6回の資源回収・ゴミ拾い等に参加させて頂いています。毎月1回英会話講師に来ていただき利用者様の楽しめる内容にて英会話教室を開催しています。 | | |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | グループホーム内での行事等に気軽に参加して頂ける様、回覧や町内の方へも呼びかけさせていただいています。 | | |
| 4 | 3 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は、利用者本人・ご家族・職員・町内役員・地域住民代表が参加し、2ヶ月に一度開催している。現状の取り組み内容の報告をし、ご意見・ご要望等を話し合い、サービスの向上に努めさせていただいています。 | | |
| 5 | 4 | 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 生活保護課・介護保険課を中心に市担当者との密に情報交換を行っている。また、市担当者の方には、運営推進会議にも参加していただき講演をしていただく等、連携してサービスと質の向上に取り組んでいる。 | | |
| 6 | 5 | 身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、日々身体拘束をしないケアに取り組んでいます。身体拘束に関するマニュアルを作成し身体拘束委員会を組織している。玄関はご家族の了解を得て、夜間のみ施錠しています。 | ホーム職員全体で介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解しており、日々身体拘束をしないケアに取り組んでいます。身体拘束に関するマニュアルを作成し身体拘束委員会を組織している。玄関はご家族の了解を得て、夜間のみ施錠しています。 | | |
| 7 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 虐待防止関連法に関しては、研修に参加し、その内容をフロアー会議の場にて職員と共に意見交換し、勉強会を行っています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 職員全体としての勉強は今現在行っていますが、今後は外部研修などで参加可能なものは参加し、理解を深めていきたいと考えています。 | | |
| 9 | | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入居契約及び利用解除に際しては、入居担当者や管理者より説明し、入居者様やご家族様の不安や疑問等は丁寧に対応させて頂き、納得されております。 | | |
| 10 | 6 | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 運営推進会議の場におき、ご家族様との意見交換をさせて頂いております。入居者様のご意見・不満・苦情を日々の言動から察するよう心がけ反映出来るように努めています。年2回家族会を開催しご家族の意見を聞く機会を設けています。ご家族の来訪時には、声掛けをして気軽に意見や要望を言える様な雰囲気づくりに努めています。 | | |
| 11 | 7 | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | ホーム内の会議には、本部の統括マネージャーも参加し、職員の意見や提案を聞き入れ運営やケアに反映させています。又、職員の異動は出来るだけ少なくなるよう配慮しています。 | | |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 職員のストレスを軽減させる為、休みの希望には出来るだけ答え、休憩時間はしっかり身体を休めてもらう様にしています。 | | |
| 13 | | 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 管理者会議での研修を職員へ落とし、実践に役立ててもらっています。又、次年度の研修計画を立て研修の機会を設けています。外部への研修に関しても可能な限り参加できるように努めていきたいと考えています。 | | |
| 14 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホーム協議会主催の研修会に参加させて頂き、意見交流を行っています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | 初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 運営推進会議に出席して頂き、ご本人様ご家族様より意見を伺いながら歩み寄っていただける様 努めています。 | | |
| 16 | | 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 不安や要望にお答えし安心して頂ける様 努めています。 | | |
| 17 | | 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 相談時、他のサービス等のニーズに合った所を紹介しています。 | | |
| 18 | | 本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 日々共同生活を喜びとして実感して頂けるよう努めています。 | | |
| 19 | | 本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 介護日誌と一緒にお手紙を添え、日々の様子を送付しています。又、面会時には様々な報告をお話しています。 | | |
| 20 | 8 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 可能な限り、ご自宅にいた頃のように支援を行っています。行きつけの理美容院の利用やかかりつけの病院の受診を支援しています。帰宅を希望した時は、短時間でも帰宅出来る様支援しています。 | | |
| 21 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 職員と一緒に行動する事で、生き生きと生活を送って頂ける様な環境作りを行っています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 必要に応じて、ご本人やご家族のお話を聞いたり、ご相談に応じる事が出来るよう努めています。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | ご本人やご家族の意向をお聞きし、希望に沿えるよう努力をしています。又、身体的な面では医師や訪問看護師、ご家族やホーム長と相談し対応しています。 | | |
| 24 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご本人やご家族にお話を伺い、少しでも馴染みの暮らしに近づけるよう情報の把握に努めています。 | | |
| 25 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日々の表情や言葉、毎日の健康チェックにて状態変化があった時は、医師や訪問看護師に相談し、迅速に対応できるよう努めています。 | | |
| 26 | 10 | チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 計画作成担当者を中心に利用者ご本人やご家族の意向や希望を聞き、カンファレンスで職員同志が意見を出し合いながら介護計画書を作成しています。介護計画書は3ヶ月ごと、定期的に見直しています。 | | |
| 27 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 毎日、介護日誌・支援経過記録・サービス内容の実施記録を記入し職員間で情報を共有できるよう努め、日々の関わりやプランの見直しに役立っています。 | | |
| 28 | | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 近隣に昔ながらの市場や散歩できる場所があり、入居者様の希望時には一緒に外出できるよう努めています。 | | |
| 29 | | 地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域のお花屋さんが花を生けに来て下さったり、ボランティアによる歌や踊りを披露して頂いたり、町内のお祭りに参加するなど入居者様の楽しみになっております。 | | |
| 30 | 11 | かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ご本人やご家族様の希望する医療機関に受診できるよう支援しています。週2回訪問看護師による健康チェックを受けたり、協力医療機関のかかりつけ医は24時間相談可能な体制となっています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | 看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 看護師は在中しておりませんが、週に2回訪問看護師が来所され、入居者様の健康管理等をして頂いています。 | | |
| 32 | | 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入居時は病院と連携を取り、早期に退院出来るようホームで出来る事等をお話して関係作りを行っています。 | | |
| 33 | 12 | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | ご家族様にホームで出来る事を説明し、ご理解頂いております。重度化や終末期に向けた方針及び同意書を作成し、ご家族に説明しているが、まだ改めて職員間で研修等を行った事が無い為、研修を行っていきたくと思っています。 | | |
| 34 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 緊急時対応マニュアルを作成しています。 | | |
| 35 | 13 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 消防署の協力で避難訓練を開催しております。夜間2名体制時の訓練も非常時に備え行っております。また、運営推進会議等の場で地域の方にご理解とご協力をお願いしております。 | | |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 入居者様のプライバシーに配慮した声かけ、尊厳等を損なわない様な対応に努めています。個人記録や面会簿なども適切に保管しています。 | | |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 普段の会話から、ご本人の思いや希望を察し出来るよう心がけています。 | | |
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人ひとりの状態や思いに配慮するよう対応しています。 | | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 希望される方は、馴染みの美容室や衣料品店に行けるよう対応しています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 下ごしらえ等を一緒に行っています。夏にはホームの菜園で取れた野菜を一緒に収穫し、献立に取り込みます。お誕生日には、好みの物を食べて頂いています。 | | |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 栄養士管理のメニューにより、カロリー調整・バランスの取れた食事を提供しています。利用者様の身体状況に応じて食事の形状は工夫しています。水分は一人ひとりの状態に合わせて摂取し、記載しています。 | | |
| 42 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後に口腔ケアをし、状態に合わせて介助、一部介助をしています。 | | |
| 43 | 16 | 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 表情、行動を察して気持ちの良い排泄が出来る様支援しています。食前、食後、数時間おきにトイレの声掛対応をしています。 | | |
| 44 | | 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 処方された薬の服用、水分、食物繊維の摂取に気を付けています。出来る限りの運動の工夫をしています。 | | |
| 45 | 17 | 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | タイミング、体調に合わせて入浴して頂いています。入浴出来ない場合は、足浴・清拭を行っています。 | | |
| 46 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 夜間2時間おきの巡回、日中帯に運動等をし体を使い、夜間帯は気持ちよく休めるよう工夫しています。 | | |
| 47 | | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 処方箋を読み、副作用・目的を理解し、一人ひとりに合わせた服薬の支援を行っています。 | | |
| 48 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 一人ひとり可能な事はお手伝いして頂き、フロアで過ごされている時は、好きなテレビや音楽をかけた、レクで歌を歌うなどしています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | 18 | 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 入居者一人ひとり行きたい所での買い物も希望にそえる様、心がけています。散歩、買物、外出などスタッフが付き添い支援もしています。 | | |
| 50 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 個別の外出の時には、個々のおこづかいを持っていただき、自分で支払いが出来る様に支援しています。 | | |
| 51 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 希望があった時には、何時でも行っております。 | | |
| 52 | 19 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居者様に不快な、音・光・臭い等の内容を配慮して、季節感を取り入れ心地よく毎日をご過ごして頂けるよう工夫しています。共有空間はバリヤフリーで手すりを設置し、広さも十分で使い易くなっています。居室のドアには写真やマスコットを貼る等し入居者様が混乱しないよう工夫しています。 | | |
| 53 | | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 玄関やベランダにベンチを置き、一人になれる空間を作っています。時には、気の合う方と外の空気にふれ、ゆっくりお話が出来る環境作りに取り組んでいます。 | | |
| 54 | 20 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご本人やご家族様と都度相談しながら、居室には利用者様の使い慣れた家具、思い出の品、好みの生活用品等を自由に持ち込んで頂き、その人らしく安心して過ごせる様に支援しています。 | | |
| 55 | | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | ホームの横には庭があり、小さいですが菜園や花壇を作り、四季の作物を栽培し収穫して頂いたり、花を摘んで頂きフロアーに飾っていただいたり等、自立した生活が出来るように工夫しています。 | | |